

鈴木あやこ

江東区議会 民政クラブ 会派レポート

2022年はイベントや観光なども復活し、社会経済活動も回復基調となった一方で、物価高騰などの課題も新たに発生しました。

コロナ禍により、生活様式、働き方の変化やデジタル化の進展など、

社会のあり方は大きく変わり、未来を切り拓くための戦略が求められています。

江東区においては、地下鉄8号線(豊洲～住吉間)の延伸の事業化が決定し、

沿線まちづくり構想策定への取り組み、オリンピックレガシーの活用なども進んできました。

2023年も引き続き、江東区議会議員として、区民や事業者の皆様が安心・安全に暮らせるよう、生活支援、経済振興や新しいまちづくりを推進してまいります。

区議会レポート初春号では、江東議会の活動、鈴木あやこの政策とこれまでの実績などについてご紹介いたします。



江東区猿江・潮見を経て豊洲在住。早稲田大学大学院修了。
NTTドコモ勤務を経て、2011年初当選、現在3期目。
日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」4回受賞。
江東区議会 文教委員長・厚生委員長を歴任。
現在は企画総務委員会、地下鉄8号線延伸・交通対策特別委員会委員。

鈴木あやこ
ホームページ



鈴木あやこ
YouTube
チャンネル



2023年 初春号
VOL.98

新年行事に参加しました

2023年の年始は、江東区賀詞交歓会や消防団始式などの新年行事や、「二十歳の集い」(成人式)などに参加しました。コロナとの共存も進み、飲食を伴う行事も徐々に復活しています。本年は昨年よりもさらに観光や地域経済などが活性化し、賑わいが戻ることを願っております。



江東区議会 令和5年第1回定例会 開催

令和5年最初の定例会となる第1回定例会が、2月15日～3月15日までの会期で開催されます。本定例会は、4月の江東区議会議員改選前の最後の定例会となります。区政一般質問のほか、新年度予算となる令和5年度の予算審査特別委員会も開催されます。3期目最後の締めくくりとなる定例会、区民の皆様の声を政策として形にできるよう頑張ってまいります。



鈴木あやこの議会質問の動画は、「江東区議会インターネット中継」でご覧いただけます。

みなさまとの対話を江東区のまちづくりに反映しています。

1 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafe」

江東区のまちづくりや議会に関する情報について皆様とざっくばらんに対話する、気軽な区政報告座談会「あやこcafe」を2011年から毎月欠かさず(合計141回)開催しています。現在はコロナ対策のため、オンラインで開催しています。最新の開催情報は、鈴木あやこホームページ・SNSでお知らせします。QRコードから開催情報を御覧いただき、ぜひご参加いただけすると幸いです。



あやこcafeのページ

2 耳で聴く区政報告「ほぼ週刊あやこcafeラジオ」を毎週日曜に配信しています！

江東区のまちづくり、区議会のことをわかりやすくお伝えするため、音声による区政情報発信「ほぼ週刊あやこcafeラジオ」を毎週日曜に放送しています。約10分間の放送を、YouTube、インターネットラジオStand.fmから配信しています。お持ちのスマホやPCなどから、お気軽に聴きください。



Youtube版

Stand.fm版

本区議会レポートでは、鈴木あやこの重点政策についてご紹介します。

第1回目は「ICT政策について」、インタビュー形式でご紹介いたします。



鈴木あやこの重点政策① ~ICT政策編~

通信会社での営業経験を活かし、ICT政策を訴えていこうと決意

Q. 鈴木あやこ議員がICT政策を訴えていこうと思ったきっかけはなんですか？

A.私は区議会議員になる前に、NTTドコモで官公庁をお客様とする法人営業の仕事に携わっており、防災や観光、交通、庁内システムなど、官公庁の業務や住民サービスに密着したシステムの提案・構築などを行なっていました。このためICTが住民サービスの向上や自治体の業務改善に役立つことを実感していました。



区政報告座談会「あやこcafe」で区民の皆さんと意見交換

議員になってから、江東区や多くの自治体では、企業に比べてICT化が遅れていることを痛感しました。例えば、行政サービスの手続きは役所の窓口に行かないとできないものが多く、オンライン化されていないこと。区役所のホームページが分かりにくく、SNSなども活用されていなかったことなどです。そして、それに対しての指摘や有効な提案が議会でなされていないことに気づきました。

そこで、私は前職のNTTドコモで自治体向けのシステム提案や運用をおこなってきた実績を活かし、ICT政策を訴えていこうと決意しました。

小中学校への1人1台端末の導入、子育て・防災分野でのICT活用を推進

Q.これまでの活動実績は？

A.教育分野では、小中学校の児童生徒に対する1人1台のタブレット端末の配布や電子

黒板、デジタル教科書の導入など、ICT化が大きく進みました。

10年以上前から先進自治体の視察や議会質問を続け、2021年度に実現しました。コロナ禍において、多くの区民の方からご要望をいただいたことで、タブレット端末の導入がさらに加速。授業での活用に加え、感染症による学校休校時や自宅学習でも活用されています。国政において、GIGAスクール構想を推進してきた、石橋みちひろ参議院議員とも連携させていただきました。

防災分野では、防災アプリの導入やSNSによる災害情報発信の強化、福祉分野ではGPSを活用した高齢者の居場所の検索なども提案して実現しました。

子育て分野では、子育て情報ポータルサイトの導入や、AIを使った保育園入園業務の効率化により、区の認可保育園の決定通知送付の迅速化につなげることもできました。

現在は、**保育園の入園申し込みのオンライン化の実現**に向け、江東区への提案を続けています。

行政全般では、江東区公式LINEの導入や、AI・RPAの活用による事務処理の効率化が実現するなど、ICT化の動きは着実に進んでいます。ICT政策については他の議員よりも早く、詳しく、継続した議会質問を心がけています。

コロナ禍以降高まるICT化等の重要性

Q.最後に、区議会議員としての住民福祉の向上の思いをお願いします。

A.区議会議員として、様々な議会質問や提案を行ってきたことで、江東区のICT化が前進し、教育・防災・子育て・福祉など様々な分野で住民生活が便利になったことを実感しています。

コロナ禍においては、住民

サービスのICT化への重要性はさらに高まり、自治体においてもDX化やAIの活用などを前向きに検討するようになりました。



議会でICT関連の質問を数多く実施

私が理想とする行政のICT化は、区役所に行かなくても、パソコンやスマートフォンなどから行政手続きが完了する、「行政サービスのオンライン化」を実現することです。

今後ともICTの活用による住民福祉の更なる向上を、通信業界出身で、ICT政策に詳しい議員として積極的に提案し、政策実現につなげていきたいと考えています。



韓国の「電子政府」の取り組みを視察



「鈴木あやこのICT政策」については、耳で聴く区政情報発信「第35回ほぼ週刊あやこcaféラジオ」で放送しています。
QRコードからアクセスいただき、ぜひお聴きください。



政策1 子どもたちの未来のために

- ①仕事と子育ての両立 ②待機児童の解消
- ③子育て支援の充実 ④児童虐待のない社会へ

政策2 お年寄りの元気と安心のために

- ①高齢者を地域で見守るまちづくり
- ②元気な高齢者の活躍支援

政策3 地下鉄8号線沿線まちづくりとオリンピックレガシーを活かした新しいまちづくり

- ①地下鉄8号線(豊洲~住吉間)沿線まちづくりと臨海地下鉄の推進
- ②江東湾岸エリアの持続的な発展とオリンピックレガシーの継承
- ③公営住宅などの建替えに伴う、新しいまちづくりの推進

政策4 ICT活用による区民サービスの向上

- ①子育て・教育・医療・防災分野など行政サービスのオンライン化の推進
- ②ICTの活用による行政の効率化と区政の「見える化」の推進